

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2025 ぐんま」の取組について

リレー・フォー・ライフ・ジャパン
ぐんま実行委員会

がんを患った方々とその家族を支援し、がん征圧の大切さを社会に訴えるチャリティー活動として、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025 ぐんま」を下記のとおり実施いたしました。

記

1 リレーイベントの開催

- ・日時：10月11日（土）14：00～ 12日（日）10：00
- ・場所：ALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンド
- ・内容：リレーウォーク
ドクター講座
ステージイベント（ヒーローショー、ギター演奏、弾き語り等）
ルミナリエの点灯
エンプティテーブルセレモニー

等

- ・参加者数：5,694人（うちサバイバー 350人）
- ・リレーウォーク参加チーム数：69チーム（うち患者会チーム 13チーム）
- ・報道関係：（1）新聞
上毛新聞 記事掲載日 10月12日（日）
（2）テレビ
群馬テレビ 10月11日（土）群テレNews 18：00～
10月23日（木）ニュース×情報「がるがる」18：00～



集合写真（開会式にて）



開会式（大島実行委員長）



開会式（山本知事）



サバイバーズウォーク



全体ウォーク



ドクター講座



エンプティテーブルセレモニー

2 ライトアップ

群馬県庁昭和庁舎及び臨江閣をリレー・フォー・ライフを象徴する色であるパープル（紫色）でライトアップしました。

群馬県庁昭和庁舎（9月1日～9月14日）

臨江閣（9月1日～9月4日）

3 がん患者支援とがん征圧のためのチャリティー活動の実施

各企業、関係団体へ協賛を依頼するとともに、募金箱の設置依頼やルミナリエ販売のあつせんを行いました。また、アプリをダウンロードし、参加費を支払うことでリレー・フォー・ライフへの寄付となる「セルフウォークリレー」を今年初めて実施しました。

4 募金（収入）総額

6,968,700円（昨年度 6,876,373円）

※このうち、イベント等に要した経費を除いた2,137,442円を日本対がん協会に寄付。

【総 括】

山本一太群馬県知事、(公財)日本対がん協会 梅田正行理事長を迎えて開催された13年目のリレーイベントは、開会の冒頭は雨模様でしたが、昨年を超える多くの人々が来場・参加されました。がんを正しく学び、また、医師とサバイバーの交流の機会として、昨年好評だったドクター講座には、今年も聴講に多くの人々がサバイバーズテントに集まりました。

後日の群馬テレビの情報番組では、リレーフォーライフについて特集が組まれ、その趣旨が詳しく放送されました。

多くの企業や団体から、昨年以上の多額の協賛金・募金をお預かりするなど、今年も多方面から応援と協力をいただき、関係者一同「がん患者支援とがん征圧」への想いを改めて強くしました。

皆様からの協賛金・募金は、イベント等に要した経費を除き、(公財)日本対がん協会に寄付し、がん医療の発展や患者支援、検診の啓発に役立てさせていただきます。